

県内産業に活力与える

『地場産業フェア』花やかに開幕

10月1日から2日間、産業会館で

地場産業は地域経済の発展に大きく寄与する一として10月1日から2日間、工業組合事務局のある岐阜産業会館の展示場で『岐阜県地場産業フェア』が開催される。七大産業の一つであるプラスチック加工業界は、地場産業フェア開催に早くから呼応、当工業組合はもとより岐阜プラスチック工業、東和化成、コダマ樹脂工業、西村製作所、八幡化成の5社が出展するが、沈滞ムードの県内地場産業に活力を与えるものとして期待されている。

関係業界が協力し 実行委設けて計画

この地場産業フェアは、県内で生産される地場産業製品を広く県民に認識してもらうため、製品を一堂に集め、展示、即売する。各産業界もこれを機会に新しい製品、新しい生産技術の開発と品質の向上に努め、併せて新しい販路の開拓を図るのがねらいである。

このため岐阜県が中心となって関係機関・団体やプラスチック、食品、繊維、家具・木工、紙・紙加工、陶磁器、金属・機械の業界団体など16にのぼる機関・団体で実行委員会を組織、さる4月くらい開催計画を盛り上げてきた。

5つの地場産業地域に分け展示

地場産業フェアの会場は、岐阜産業会館の大展示場と中展示場を利用、大展示場では①展示コーナー②生産実演コーナー③先進・先端産業コーナー④地場産業振興施策の紹介など。展



岐阜県地場産業フェアのメイン会場のレイアウト

示コーナーでは岐阜、大垣、中濃、東濃、飛騨の5つの地場産業振興地域ごとに出品物を展示、先進・先端産業コーナーでは、県内で生産される産業用ロボット、マイコン、ニューセラミックス製品を展示、実演する。生産実演コーナーでは、主として伝統工芸品産業が中心となって生産、実演する。

会場全体の小間数は合計180小間で、このほか地場産業を生み、育ててきた地域に伝承される郷土民俗芸能の実演が午前、午後と2日間に4回行われフェアを盛り上げることになっている。



国鉄岐阜駅前に建てられた地場産業フェアの広告塔

工組合め業界から9小間

現況とめざす新方向を企画展示

プラスチック業界から『岐阜県地場産業フェア』へ出品するのは、まず、当工業組合が大展示場の中央部に設けられる岐阜地区のコーナーへ2小間展示する。これに組合員企業から岐阜プラスチック工業が3小間、東和化成が2小間を出展する。この他、コダマ樹脂工業が大垣地区で1小間を出展、中濃地区では西村製作所と八幡化成が共同出品する。したがってプラスチック業界からは9小間出展することになる。

工業組合が展示する小間のディスプレイは①年間生産額1,860億円、その企業数562社という岐阜県下七大産業の規模を広く認識してもらう②とくに県内プラスチック成形業界は、射出、中空、押出、圧縮、注型、インフレ、その他と幅広く成形加工業者が集積していることを知ってもらう③生産される商品も日用雑貨品、産業資材、その他の部品、電気部品、自動車部品、

再生樹脂などその他と、多品種にわたる生産品を紹介する一の3点を重点に、業界の現況と業界がめざす新しいプラスチック加工業界の方向を企画展示、来場者に訴えていく。

また、各地場産業振興地区ごとに出展する組合員企業は、それぞれ自慢の自社成形製品を中心に展示する計画。

研究機関の業務状況紹介

高分子科からは2つの研究成果

『岐阜県地場産業フェア』は、五つに分けた地場産業振興地域ごとの展示や先進・先端産業コーナー、生産実演コーナー、即売コーナーのほかに県内試験研究機関の業務及び試験研究の状況を紹介する。

県関係では工業技術センターはじめ繊維、陶磁器、紙業、金属、工芸の六試験場がそれぞれ試験研究の成果を公表する。とくに工業技術センターの高分子科からは『プラスチック着色成形加工技術の研究』と『プラスチック複合材料の開発研究』の2テーマの研究成果が、ペレットや成形品を添えて展示され、プラスチック業界関係者の注目をあびそうだ。

来場者には抽選でプレゼント フェア開催日は無料バス運行

この他、会期中の来場者には抽選により1等には5万円相当の国内旅行券(2本)、2等には1万円相当の国内旅行券(3本)、3等以下は5千円、千円、500円相当の地場産業製品が合計525本が当ることになっている。

なお、フェア開催日の1日、2日の両日は、産業会館→国鉄岐阜駅→柳ヶ瀬平和通り→国鉄岐阜駅→産業会館の順路とする貸切無料バスが3台運行計画されている。

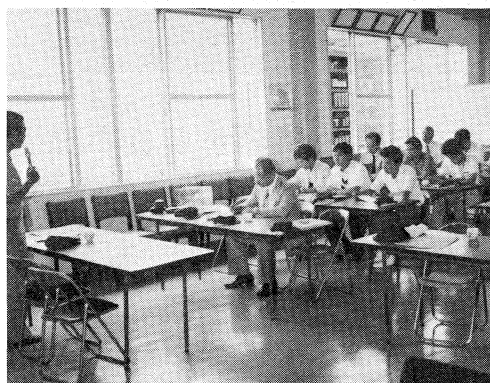
青年部が枚方へ研修旅行 労務改善 事業で

当工業組合の青年部は、8月28日、29日の2日間、研修旅行を実施した。この研修は、今年度から開始している中小企業集団育成事業（労務改善事業）の一環として実施、大阪府枚方市にある枚方中小企業団地を訪問、関係者と懇談したり工場を見学した。

研修旅行に参加したのは、青年部会長の加藤法康さんら10人で、一行は28日の午後、組合のある岐阜産業会館を出発、同夜は京都の亀岡に宿泊、事前研修した。枚方中小企業団地を訪問したのは翌日で、午前は進出企業の大阪螺子製作所の工場見学を行い品質管理について、午後は団地の生い立ちや共同化のメリットについて説明を受け懇談を行った。

枚方中小企業団地は、大阪府が富田林、柏原・羽曳野など各地の中小企業団地に先んじて建設した工場団地。造成工事に着手したのは昭和39年1月、分譲開始したのは昭和40年7月で、約38万平方メートルの団地に機械、金属製造業を中心に51社が進出、工場地区と住宅地区が整然と区分されたモデル工業団地である。

また、大阪螺子はねじ加工の専門メーカーで最新鋭の設備と徹底した品質管理ぶりをつぶさに見学し、帰岐した。



枚方中小企業団地で関係者と懇談する青年部一行

ポリエチレン

スミカセン®

エチレン酢酸ビニル共重合樹脂

エバテート®

ポリプロピレン

住友ノーブレン®

ポリスチレン樹脂

エスブライト

塩化ビニル樹脂

スミリット®

メタアクリルシート

スミペックス®

メタアクリル樹脂

スミペックス-B®

高密度ポリエチレン

スミカセンハード

熱可塑性エラストマー

住友®TPE

合成ゴムSBR

住友®SBR

合成ゴムEPR

エスプラン®

エチレン酢酸ビニル

塩化ビニル共重合樹脂

スミグラフト®



住友化学工業株式会社

名古屋支店 〒460 名古屋市中区錦1丁目11番18号(興銀ビル)
電話 <052> 201-7571

温度測定器など3機種

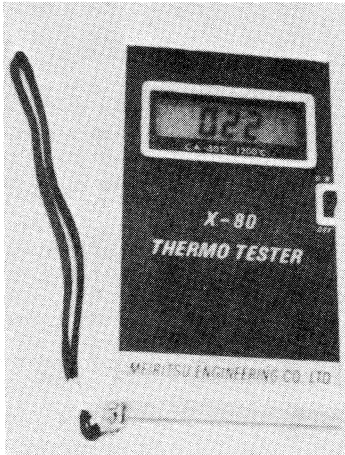
あっ旋商品のお知らせ

工業組合では組合員企業に必要な商品や機器の一括共同購入やあっ旋をしております。今回の一括購入及びあっ旋商品は『デジタル・サーモテスター』『汎用コンプレッサー』そして『ファクシミリ』の3機種です。いずれも有名メーカーの厳選された商品です。あっ旋価格は、コピー印刷した「お買い得情報」をご覧ください。3機種の特色は次のとおりです。

〈デジタル・サーモテスター〉

名立計器（本社名古屋市）が発売する小形携帯用デジタル温度計で、あっ旋商品は「X-80」タイプです。

特徴は①小形、軽量



デジタル・サーモテスター

②多点リニアライザーを内蔵し高精度③応答性が早く表面温度計に最適④低コストなどで、計測温度が瞬時に数字で表示されます。

温度範囲はマイナス50度Cか1,200度Cまで広範囲な温度が測定できます。電源は006P（9ボルト）で、重量は約200グラム、外形は82W×130H×22Dです。

〈汎用コンプレッサー〉

自動取り出し機などの普及で、近年、よく使われるようになったのがコンプレッサー。このため総合コンプレッサーメーカーである神戸製鋼のスクリーコンプレッサーをあっ旋商品に新しく加えました。機種は省電力タイプの経済機種からマイコンを内蔵した自動発停機まで種類ありますからカタログをご覧ください。

〈ファクシミリ〉

電々公社の簡易ファクスが登場したこともあってファクシミリの威力が注目されています。あっ旋商品はファクシミリのトップメーカーである日立製「ハイファックス4100」です。鮮明な画像を自動的に送受信できる機種で、親会社からの図面や書類が即時に送受信できます。工業組合の会員企業でもすでに数社が活用、生産性に大きな実績をあげておられます。

徳山ポリプロ

徳山OPフィルム

ポリプロピレン二軸延伸フィルム



徳山曹達株式会社

名古屋営業所

名古屋市中村区名駅四丁目27番23号（新名古屋ビル東館5階）
電話（052）581-1581代

資本効率良いが利益減少

○業界の経営指標がまとまる○

岐阜県商工労働部は、昭和57年度に調査した県内中小企業の経営指標をまとめた。これは岐阜県下の中小企業10業種の753企業の経営実態を計数的に把握したもので、企業経営の合理化と診断の参考資料として注目される。

なお、プラスチック成形加工業の調査対象企業は合計29社（うち射出成形15社、その他の成形14社）であった。

売上不振と原価の高騰が重なる

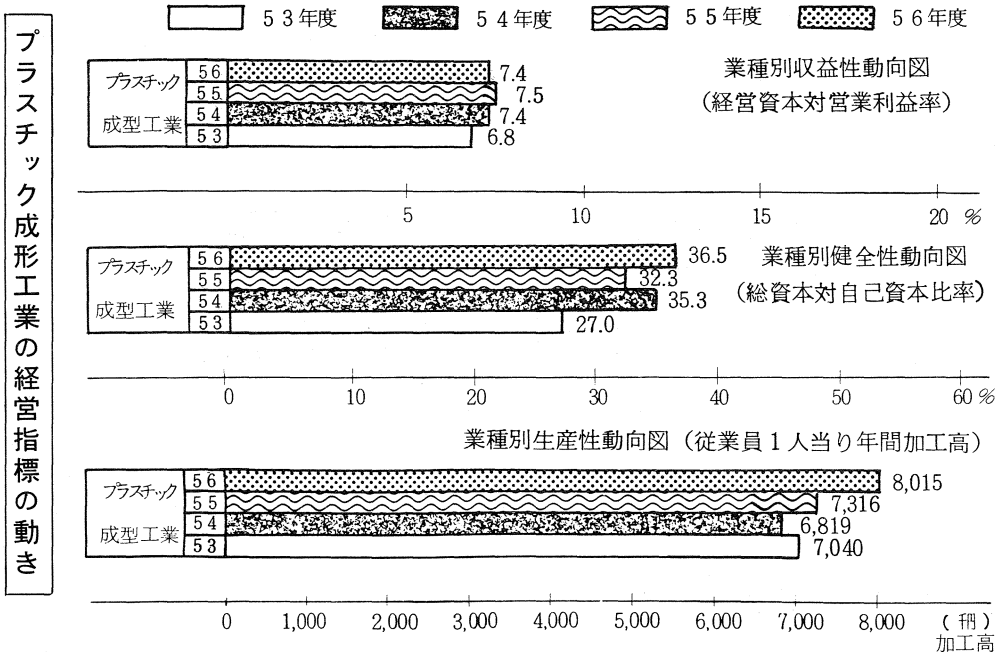
〈収益性〉 経営資本回転率（資本効率）は2.5回までに上昇し、極めてよい傾向を示している。製造業総平均の経営資本回転率が1.8回であることに比べれば、プラスチック加工業界の資本効率の良さは抜群であるといえる。

諸利益率は減少傾向を示し、全般的に好ましい結果が出ていない。総利益率は前年より上昇

してはいるものの、販売管理費比率が総利益率の上昇以上に上昇しているため、単純によいとはいえない。また、欠損企業の比率が、調査対象10業種の中で第3位で、収益性の悪さが推測できる。業種別では射出成形業の利益率が悪くとくに総利益率は14%で、売上の伸び悩みと、原価の高騰による二つの悪条件が重なって、苦境ぶりがうかがえる。

〈健全性〉 自己資本対固定資産比率は11.62%、固定長期適合率は69.9%と理想的な形となっているが、流動性のある資本需要に対し、どの程度対応できるかを示す数値は時系列的に減少し、対応力が弱まってきている。

〈生産性〉 従業員1人当たり生産高は前年より落ち込んでいるが、年間加工高は9.6%上昇、生産性は上昇していると判断してよい。加工高比率も39.2%から41.0%に上昇してよい結果が出ている。しかし、加工高対人件費比率が35.2%と前年より3.5ポイント上昇し、人件費の上昇分に見合う生産性は向上していない。



○輸入ナフサ上昇で先行不安○

通産省基礎産業局が明らかにした情報によると「7月の石化用ナフサの平均輸入単価はCIFキロリットル当たり4万6,700円で前月を約150円を上回ったにすぎないが、8～9月の輸入価格はスポットものも、コンラクトものも値上がりしていることや円安などの要因から大幅上昇は避けられない」見通しである。

製品市況の上昇から楽観ムードも出てきた石化業界であったが、ここへ来て一転、ナフサ価格の先高観が出るに及んで先行不安観を強めている。

○ABSの代替、サンタック○

三井東圧化学は、組成や物性がABS樹脂によく似ており、用途面でもほぼ代替できる新しいポリスチレン系の樹脂「サンタック」（商品名）を開発、サンプル出荷を始めた。

ハイタックの耐衝撃性はハイ・インパクト性のポリスチレンより上で、ABSより多少劣るが、剛性、光沢、耐熱性、成形性、着色性はABS樹脂と同等という。ABS樹脂は最近、電機、電子をはじめ事務機、情報関連分野で需要が急増しており、ABSメーカーは現在フル操業中である。このため同社ではポリスチレン、AS樹脂に次ぐスチレン系事業第3の柱に育てていく方針。

○ゼリー状の新素材を開発○

東洋護謨工業（本社東京）は、ゴムとプラスチックのそれぞれの長所を最大限に生かしたゼリー状の新素材「オイルゼリー」（商品名）を開発した。この新素材は各種オイル類を主成分とし、さまざまな可塑剤と汎用レジンを組み合わせて、ケミカルアロイ技術を駆使して合成したも

ので、国内及び米国など7カ国で組成、製法の特許を出願中である。

生産工場はすでに川越市に建設中で、9月からサンプル出荷を始める計画である。同社では特殊ホース、パッキン・シール材、履物関連メーカーなどと提携、新素材の用途開発を急ぐ。

○プラごみからガス燃料発生○

新技術開発事業団は、処理が難しいプラスチックごみを特殊な処理装置でガス化し、工場のエネルギー源として再利用する新システムの開発に成功した。このシステムは国井大蔵東大工学部教授が考案し「深層流動層式熱分解炉」と呼ばれるもので、上部に比べて下部が細くなった逆円錐形の熱分解炉の上部からプラスチックごみを入れ、下から空気を吹き込んで、炉の内部を流動するケイ砂と共にごみを加熱する仕組みである。

この装置を使えば、プラスチックは分解して可燃性ガスとなり、混ざっている普通のごみは燃える。

○立型の大型射出成形機登場○

神戸製鋼所は、従来の横型に比べて生産性、省エネルギー性に優れた立型射出成形機「VGシリーズ」を開発、本田技研鈴鹿製作所へ4台（型締力2,500トン）納入した。これは自動車部品のプラスチック化、とくにバンパーなど大型部品の成形が行われるようになったため、新しく立型構造への展開を図ったもの。

VGシリーズは①重力を利用して取出し時間を短縮でき、機械のコンパクト化を図った②据え付けスペースが縮小でき、工場空間が高率利用できる③金型を上下に配することにより金型自重によるたわみがなく、金型設計がシンプルとなり、コスト低減できる一など利点は多い。

新労働災害防止計画 労働災害を30%減らせ

労働省は、このほど新労働災害防止計画を策定した。この計画は労働安全衛生法に基づいて策定したもので、同法制定以前の昭和33年に第一次計画が策定されてから通算すると第六次にあたる。10月1日から全国労働衛生週間が全国いっせいに展開されるのを機会に、職場の安全衛生について再検討するチャンスでもある。

中高年労働者の健康保持を図れ

わが国の労働災害は、この10年間をみると死亡災害が半減するなど大幅に減少してきているが、今なお死亡者3千人を含め、年間100万人を超える労働者が被災している。

新労働災害防止計画は、こうした状況を踏まえ今後の労働災害防止対策の基本方向を定めた。計画の期間は昭和58年度を初年度とし、昭和62年度を目標年度とする5か年間。その目標は次の4点となっており、目標達成のため、事業者ははじめ関係者の積極的な活動が期待される。

①労働災害の絶滅へ向けての努力により、死亡災害および重大災害の大幅な減少を図るとともに、労働災害全体の約30%の減少を図ること。

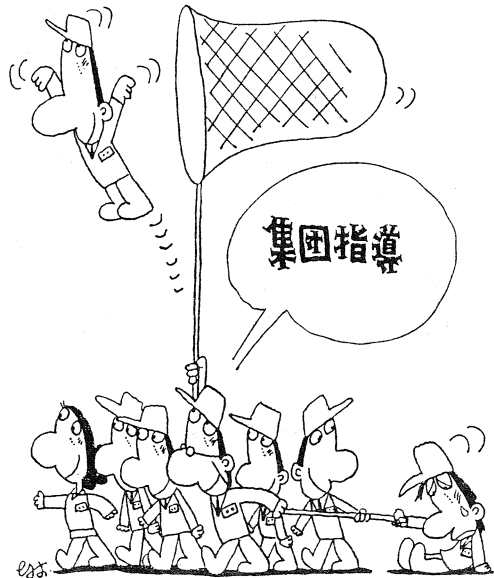
②職業性の疾病を予防するため、適正な作業環境等の確保を図ること。

③中高年齢労働者の総合的な健康の保持増進を図ること。

④産業用ロボットなど新たな技術の導入に耐応し、安全衛生の確保を図ること。

共同管理で労災の発生率が減少

安全衛生の『共同管理』で、労働災害防止に著々と効果をあげている中小企業集団が増えて



いる。それだけに現在、当工業組合が今年度から中小企業集団育成事業の指定を受けて取り組む種々の労務改善事業の成果が期待される。いずれにしても、中小企業でも力を合わせれば労働災害を防止できることを実証しているといえる。

事業所相互の連帯意欲も向上へ

神奈川県戸塚工業団地（19企業が参加）で団地内に安全衛生委員会を設け、相互パトロールや勉強会などの安全衛生活動を共同で行うようになった。こうして3年間、安全衛生の共同管理を始めてからは、事業所相互の連帯意識が向上し、安全衛生活動が活発となった。それに伴い、同団地全体の度数率（100万労働時間あたりの発生死傷者数）が、昭和56年の4.9から57年の3.5へと減少するなど、労働災害の発生率も減少している。

デザインのすすめ
岐阜県プラスチックデザイン協会

100円商品の世界

俗に「ワン・コイン商品」と呼ばれるもので、10円、20円、100円といった1コインで買える商品はガム、チョコレートといった菓子から、ガチャンコ、TVゲームといったものが主力であるが、プラスチック製の日用雑貨にも多く見られる商品である。

ここで紹介するのは、カバヤ食品(株)の「ビック・ワンガム」「デラックスビック・ワンガム」で、プラスチック日用雑貨製品とは少し分野を異にするが、100円商品開発企画という意味で参考にされたい。

「ビック・ワン商品」は昭和53年4月に100円商品として生まれ、昭和55年5月から100円、150円の2つの価格ラインを持ち、それぞれを差別化しながら、全体的売り上げを伸ばしている「ガムとプラモデル」商品である。

BIG★1GUM〔100円〕

4～9歳を対象に組み立てかんたんでコンパクトで小型モデル

DELUXEBIG★1GUM〔150円〕

10～15歳を中心にそれ以上の大人の男

性までを対象に、メカニックで精巧な仕上げにしている。

販売実績は昨年度で100円と150円の両「ビック・ワン」商品で約21億円。2つの商品がそれぞれ10機種あることから、同数売れたとする単純計算では、1機種あたり84万個となる。(20機種で1680万個)

子供がブランドやメーカーをそれほど気にした買い方しているとは思えないことからしてもこれら商品の企画(デザインと品揃え)のすばらしさは理解できる。

同社開発部次長の「デザインニュース1983-147・財団法人日本産業デザイン振興会発行」記載によれば、同社の「ハードキャンディ」「ハード清涼菓子」と並ぶ最大重点商品に成長したポイントは「BIG・1」というネーミングがそのすべてであるという。そしてその名に相応しい新製品の開発、すなわち、品質、量、大きさ、種類などで「ナンバーワン・であること」を定義づけている。

こうした「ワン・コイン商品」は、日用雑貨の世界にもまだまだ大きな価値があるものと予測されるが、主婦のワン・コイン意識を基本的な所から再度つみあげ企画を練ってみる必要があるのです。

(岐阜県工業技術センター、工業デザイン)

出光の石油化学製品

- ◎取扱品目
- ポリスチレン
- 高圧ポリエチレン
- 中低圧ポリエチレン
- ポリプロピレン
- カルブ®
- ポリカーボネート

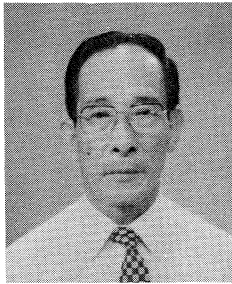


出光石油化学株式会社

東京都千代田区丸の内3-1-1(国際ビル) 〒100 ☎ 03-213-3111
名古屋営業所 名古屋市中区錦1-17-13(名興ビル) 〒460 ☎ 052-231-8611

将来もリサイクル事業にかける

加茂企業



玉置徳太郎さん

組合員の工場訪問はここ1～2年の間に工組へ新加入が相次いだ中から加茂企業（資本金600万円、従業員50人）を訪ねた。工場は美濃加茂市の東端、牧野地内。国道41号線

の上古井から飛驒川を渡り、可児へ向うところ。

会社設立は昭和48年10月であるが、それ以前の10年間は個人企業として運営されていた。創業以来、高安（組合員、本社各務原市）の委託加工工場で、合繊のリサイクル専門工場として活躍してきた。創業当初は古井や下米田に工場をもち、紡績工場から出るナイロンやテトロン屑を選別するだけであったが、牧野に工場用地を確保してからは樹脂として再生処理作業までするようになった。現在の再生処理能力はポリエステル250トン、ナイロン70トン、ポリプロピレン50トンにも及ぶ。

高安に次いで東洋紡と委託加工

牧野へ工場を移したのは43年であるが、オペックの台頭と共に原料樹脂が高騰したのを背景に、リサイクル事業が見直され、45年、48年と相次いで工場設備を増強してきた。

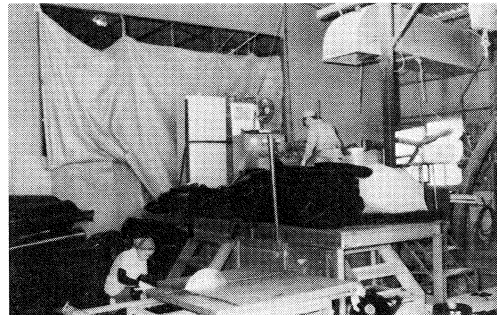
現在の再生処理工程は、ポリエステルとポリプロピレンはグラッシュミキサー（合計4基）にかけ、半熔融の粒状とする。また、ナイロンの場合は、選別のあと大型ルーダー（90ミ

2基）にかけ、再生ペレットをつくる。ナイロンの場合は湿気を嫌うため乾燥、袋詰めして出荷する。リサイクル原料も合繊糸屑から近年はポリプロピレンのフィルム屑（VTRテープや写真フィルム材）が急増、時代を反映している。

このため52年には、東洋紡犬山工場とポリプロピレン屑の委託加工の単独契約をし、同社のリサイクル事業は新展開をみせている。

技術を生かし機械を大改造する

玉置さんは八百津町の出身。機械エンジニアだったことから合繊糸のカッティング技術に成功したのを縁に高安さん兄弟と知り合い、この事業と取り組んだ。再生工場を建設してからも持ち前の技術を生かしてグラッシュミキサーを大改造し、生産能力の倍増を図った。現在、取



り組む課題はポリエステルやポリプロピレンを半熔融のままペレット状にすることで、粒がそろえば用途は飛躍的に広がるそうだ。

従業員は50人、工場は24時間操業のため、従業員にかける負担は大きい。このため工組事業は「自動車ローンや福利厚生事業のような従業員を対象とした事業に力を入れてほしい」と話している。（写真は牧野にある本社工場）

事務局だより

会員と事務局を結ぶページ

□地場産業フェアをご見学ください□

この会報・55号は、県と県内産業が協力して開催する『岐阜県地場産業フェア・特集』としました。プラスチック業界からは、工業組合が2小間と組員企業から5社がそれぞれ出展参加します。工組の展示小間については、さきの理事会でアイデアをいただき、今回は岐阜県プラスチック業界の①規模の大きさ②技術レベル③業種の広がりなどを一目で知ってもらえるような企画を練っているところです。会期は2日間と短かいですが、ご来場ください。また、その節には同じ産業会館4階にある工組事務局へお立ち寄りください。

□共同購入の希望商品を聞かせて…□

工組ではお買い得商品を発掘し、あっ旋を行っています。今回は『デジタル・サーモテスター』『汎用コンプレッサー』そして『ファクシミリ』です。商品価格や詳しい商品説明は別便にてお知らせいたします。こうしたあっ旋商品は、特定の期間中にどれだけの台数を予約できるかによってあっ旋価格が決まります。どうか早目に工場事務局へ連絡の電話をください。

また、共同購入のご希望商品や機種を聞かせてください。

□工組の青年部に加入してください□

今年1月に設立しました工業組合青年部は、組合事業の運営を委託するなど、事業活動は軌道に乗りつつあります。しかし、現会員はわずか14人です。何といっても手不足です。会員増強にご協力ください。現在、岐阜県下には約1千の組合がありますが、工組青年部は62番目に誕生したいちばん新しい青年部です。会員研修と相互の親睦を図るのが主な活動目標です。気軽に入会してください。

〔おくやみ〕 斎藤プラスチック工業所（関市ひかり町）の斎藤栄市さんの母・と志子さんが逝去されました。ご冥福を祈るとともに、9月4日の告別式（自宅は関市大門町3の9）に参列させていただきました。

岐阜県のプラスチック 1983 55号

昭和58年9月1日発行

発行 岐阜市六条南2丁目11番1号
（岐阜産業会館4階）

電話 (0582)72-7173

岐阜県プラスチック工業組合

発行責任者 大松幸栄

三菱化成のエンジニアリング プラスチックス

ナイロン樹脂

NOVAMID
ノバミッド

ポリカーボネート樹脂

NOVAREX[®]
ノバレックス

PBT樹脂

NOVADUR
ノバデュール

中低圧ポリエチレン

ポリエチレン

NOVATEC

高圧ポリエチレン

NOVATEC-L



三菱化成工業株式会社

本社：東京都千代田区丸の内2-5-2・三菱ビル
電話 03(283)6111(大代表) (千100)



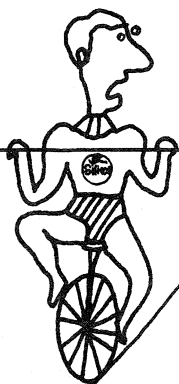
ニーズに**適確に**
こたえることで
未来の扉をひらきます

産業や生活のあらゆる分野で、便利さや快適さを生みだしているプラスチック。このすぐれた特性をコントロールして、繁栄のためによりよく活用しなければなりません。信越ポリマーはプラスチックを主な素材として、各種の製品を多角的に開発、生産、販売しています。一方、これらの製造や流通のプロセスにあっても、安全や環境の保全にも十分配慮し、時代と社会のニーズにこたえる新しい価値づくりを進めています。

新しい素材を価値あるものに

信越ポリマー

名古屋支店 名古屋市中村区名駅4丁目27番23号 (新名古屋ビル)



信越シリコーンなら
では、の、離れ技。

**信越シリコーン
離型剤**

プラスチックの離型に最適な離型剤をご紹介します。

信越シリコーン離型剤。熱に強く、化学的に不活性ですから、型や成形材料を汚したり、傷めたりする心配がありません。不良品の発生を防ぐばかりか、清掃などの労力が軽減できますので、作業能率も一段と向上します。

<特長>

- 少量の塗布ですぐれた離型性。
- 耐熱性、撥水性にすぐれています。
- 化学的に不活性ですので、型を侵しません。
- 複雑な型にも使えます。
- 品種が豊富です。



信越シリコーン

信越化学 / 名古屋支店

名古屋市中村区名駅4-27-23(新名古屋ビル東館)

TEL(052) 581-6511(代)

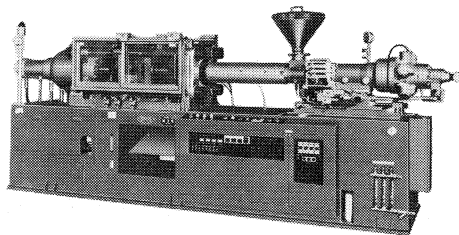


●80年代テーマ

時代を「射る」

高速精密汎用射出成形機 SE シリーズ

「高附加価値成形」と「省エネルギー」の両機能を兼ね備えた80年代の射出成形機です。省電力対応型の電子コントローラによって、射出・型締および油圧など各機構をデジタル制御。とりわけ油圧機構には新機軸の油圧回路SSEシステムにより、油圧の動力損失を最小限に抑えて、消費電力を大幅に減少させました。省電力効果は40～70%（製品により異なる）と極限を追求したものです。



NISSEI 1歩進んだ射出成形機をおとどける
日精樹脂工業株式会社

本社 工場 長野県坂城町 電話 (0268) 2-3800 (大代表)
営業所 東京 ☎ 03-357-7541 (代表) 大阪 ☎ 06-693-7881 (代表)
名古屋 ☎ 052-732-0261 (代表) 長野 ☎ 02688-2-3000 (代表)
出張所 全国27ヶ所・海外サービスステーション24ヶ所 (21ヶ国)
岐阜出張所 岐阜市西部4962-1 (茜ビル) ☎ (0582) 72-5952

TOSHIBA 東芝機械株式会社

本社 東京都中央区銀座4丁目2-11
名古屋営業所 名古屋市中村区名駅4丁目7番23号
化工機課 TEL <052> 561-8341



秋元産業株式会社

本社 東京都中央区八重洲5の7
名古屋営業所 名古屋市中村区米屋町2(埼玉ビル9F)
TEL <052> 582-5071

染料 }
工業薬品 } 販売
合成樹脂 }

山田化成株式会社

取締役社長 山田正水

本社 〒101 東京都千代田区内神田2丁目8番4号
TEL (03) 256-7861(代)
名古屋出張所 〒460 名古屋市中区丸の内3丁目13番18号(サワニビル)
TEL (052) 961-6591(代)

UL-94-V0 認定材料

自己消火性樹脂

JSR NF94
JSR NC100

日本合成ゴム株式会社 本社/東京都中央区築地2-11-24 TEL(03)541-4111・名古屋支店/TEL(052)571-1231

発見と発明

ゆたかな生活環境をクリエイト

MMA部門を中心として、時代のニーズに合った発見と発明を…



“発見”されたモノを日常生活に使用できるように研究開発することが“発明”です。人類にとって新しく“発見”されたエネルギー“天然ガス”を原料に「高品質素材の総合開発」をテーマに、“発明”を続ける協和ガス化学工業。メタクリル一貫生産メーカーとして、常に“より良いもの”を求め続けています。

メタクリル樹脂・注型板

パラグラス®

メタクリル樹脂・押出板

コモグラス

メタクリル樹脂・成形材料

パラペット®

 **協和ガス化学工業株式会社**

本社 千103 東京都中央区日本橋3-8-2新日本橋ビル ☎(03)277-3174
大阪事務所 ☎(06)345-3901 / 名古屋営業所 ☎(052)951-6396
福岡営業所 ☎(092)711-1530 / 仙台営業所 ☎(0222)66-1525



生きてる素材。

三菱レイヨンのプラスチック

メタクリル樹脂 / 板状品

アクリライト®

メタクリル樹脂 / 射出成形材料

アクリペット®

ABS樹脂

ダイヤペット® ABS

 **三菱レイヨン**

東京(272)4321 / 大阪(202)2241 / 名古屋(561)6711



リスのプラスチック



今、新しい テーブルウェアの たび だち 出発。

ノーブル(英語)とは“高貴”という意味、その名にふさわしいテーブルウェアとして、リスの一貫したデザインポリシーから生まれたメタクリル樹脂の最高級品です。

^{リス}
Noble
ノーブル

岐阜プラスチック工業株式会社

本社 岐阜市神田町9丁目25(大岐阜ビル6F) TEL<0582>65-2233(代)
稲羽工場 岐阜県各務原市前渡東町3620 TEL<0583>86-9311(代)
支店 東京・大阪・名古屋・福岡 営業所 高松・広島・仙台・札幌・宇都宮